

予算審査特別委員会

総括質疑

川村多美男 議員

問 電気料金削減のため、公共施設の電力多消費施設のLED化を提言したが、どの程度LED化されたのか。

答 学校の建て替え、街灯も含め推進してきた。

問 4月から電力自由化が始まるが、公共施設のさらなるコスト削減を図る上からも安い電力会社への乗り換えをすべきと考えるがどうか。

答 現在、北電以外を考えていないが、今後検討していく。

問 幼稚園児及び小中学生のインフルエンザ感染予防対策はどのようか。また、学級閉鎖等の事例はあるか。

答 対策は、各学校でマニュアルに沿って行っている。基本的に

はうがい、手洗いと考える。今週、標茶中学校一、二年生の学級閉鎖を行った。

問 子宮頸がんワクチン接種は、平成13年度に定期接種化になったが、3年間で接種後、重篤症状が報告された事例はあるか。

答 これまで医療機関から重篤な症状の報告は無い。

問 医療費の助成事業として高校生まで拡充し、商品券で還付することだが、すべての小中高生が還付対象か。

答 標茶町住民台帳に登録されている父母の子どもが対象になる。

問 対象者が医療費を窓口で一旦払うのか、また、端数が出た場合はどうなるのか。

答 窓口で領収書を提出し、ポイントカードに記載する。端数も次回に合わせて記載する。

問 子育て世代の経済的な負担軽減をするとのことだが、更に経済

的負担が大きい大学生まで拡大すべきた。

答 今後の検討課題としたい。

問 お試し暮らしで定住に結びついた例はあるか。

答 これまで一件である。

問 お試し暮らしで来た人をそのまま帰さず、標茶に移住された人と意見交換の場を設けてはどうか。

答 商工会青年部や観光係職員とアンケート等を行っている。

問 町内で熊による人的被害も発生している。熊及びエゾ鹿駆除実績はどうか。

答 熊は、平成26年度3頭、27年度5頭。エゾ鹿は、平成26年度2053頭、27年度は現時点で2037頭駆除している。

問 エキノコックス対策からもキツネ駆除も実施すべきだ。

答 キツネ駆除はワナで行っていく。

問 退職自衛官をエゾ鹿駆除等に数名採用してはどうか。

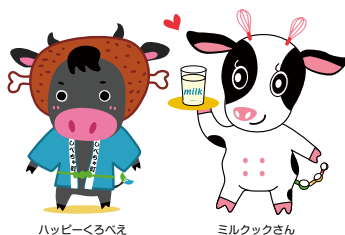
答 臨時職員として採用している。

問 標茶産牛乳は、農協店舗のほかにも販売しているか。

答 町内のフクハラで販売している。

問 ミルククさんとハッピーくろべえの着ぐるみの活用はどのようか。

答 いろいろな場で牛乳の販売促進を進めている。



問 ミルククさんとハッピーくろべえのシルやマグネット、コップのフチ子さんのようなものを作り、牛乳の宣伝と販売につなげていくべきだ。

答 手法については参考にしていきたいながら町民、各団体の協力を得ながら進めていきたい。

平川 昌昭 議員

問 北海道から土砂災害等の特別警戒地として4カ所指定され、二次災害も懸念されるが、対策はどのように協議されているのか。

答 指定された地域については、関係機関で巡回など対応をしている。

問 標茶小学校グラウンド脇の面の補修対策を。

答 校舎と離れていて木も生えているので、学校と協議しながら気を付けていきたい。

問 統合型GIS（地理情報システム）運用実施の成果と今後の施策を聞く。

答 地籍や町道、水道等、農地でも多く活用している。住民へのサービス向上になっている。

問 準用河川、普通河川の改修や流木、支障木の除去をどう実施しているか。

答 支障木は、スガワラ川については撤去した。それ以外についても住民情報があつたら撤去する。



問 GOGOチャレンジショップ支援事業のこれまでの要望と対応は。また、規則定義の見直しをすべきではないか。

答 振興条例との整合性をとってきた。見直し、継続については今後検討していきたい。

鈴木 裕美 議員

問 徘徊痴呆性高齢等検索機器助成とは何か。認知症の人を町ぐるみで見守る具体策が必要ではないか。



答 SOSネットワークを再構成しており登録制度を利用し住民に周知していく。

問 特定不妊治療助成が拡大されたが、不育症（流産）治療も助成対象とするべきではないか

答 道の要綱に沿って補助事業に上乗せする事になる。

渡邊 定之 議員

問 虹別の木工工房、陶芸工房の施設が老朽化しているが、いつ新施設に移転できるか。

答 両団体の意見を十分聞き、28年度の秋ごろをめどに代替え施設の整備を行いたい。

問 健康づくり指導員のレベルアップ、新しい人材育成を。

答 ゲーム等の技術力向上も考えている。平成29年度に養成講座を行う。



黒沼 俊幸 議員

病院の開催目的、要望等はどの様だったのか。

問 阿歴内墓園に通じる町道の約400メートルの改良工事が必要である。町政懇談会で何度も要望している。しっかり対応すべき。

答 阿歴内墓園道路の奥に牧野、山林があり、大型車が通行した為道路が傷んだものと思われる。補修に努めていく。

問 本町に建設予定の食肉加工センターは国の補助制度を活用する計画である。従来の活性化プロジェクトに変わって「強い農業づくり交付金制度」を申請する考えと聞くが見通しは。

答 食肉加工センターの廃水処理の方法が地下150m付近に地下浸透することが可能となったので本年6月頃までに実施設計に踏み切り、平成29年度の「強い農業づくり交付金」を申請する計画だ。

問 町立病院主催で、平成27年10月に各地で7ヶ所懇談会を開催している。

櫻井 一隆 議員

答 町民の方々から本町唯一の診療機関として絶対必要である。年老いたら病院が近くにあること。最後は「やすらぎ園」と思っているとの意見があり、病院経営が大変でも、医師がいないと困るなど意見があり懇談会をやって良かったとの理解が得られた。

問 標茶駅前にコインロッカーを設置してはどうか。

答 商工会で無料預かりを実施していた。コインロッカーの設置の考えはない。

問 食肉加工場の着工から完成までの期間をもっと短縮できないか。

答 できるだけ早くできるように努力したい。

問 牛白血病に対する強い抵抗性のある受精卵・卵巣の活用が必要ではないか。

答 牛白血病は、人の白血病とは全く違う。安全安心な牛乳提供のため、新しい食肉センターの中で取り組んでいきたい。

問 塘路駅前トイレを冬期間も使用可能にすべき。



答 現状、物理的に冬場の使用は困難である。今後関係者とも協議していきたい。

本多 耕平 議員

問 サルボ、サルルン展望台へいたる通路の補修工事を早くすべきでは。



答 本道の改修復旧は難しいとの回答であった。環境省に、う回路の変更を含め改善を要請している。

問 しべちや斎場施設周辺の環境整備を。

答 28年度は町道の右側900㎡を緑地化して管理していきたい。

問 統廃合による旧校舎の活用を早く検討すべき。

答 活用については、地域の要望や活用計画を優先としている。

問 空き家となっている教員住宅の活用を検討すべきでは。

答 閉校後の教員住宅は町有財産にして貸しつけの計画を持っている。今後も空き家を出さないように努力していく。

松下 哲也 議員

問 農業委員会委員の「選任制」への変更に伴い、実施に向けた基本的な考えを聞く。

答 推薦、公募の手続きについて、関係機関と協議していく。

問 しべちゃ斎場の遺族控室に電子レンジを設置してはどうか。

答 指定管理者の意見を聞いて検討していく。

深見 迪 議員

問 電力自由化に対して町はどのように対応するのか。

答 現在検討中であるが、電気料費用削減、業者の安定性、クリーンエネルギーを基準に検討している。



問 後期高齢者保険の特例軽減が廃止されようとしているが本町の影響人数と影響額を示せ。また、不利益にならないよう意見具申すべきではないか。

答 影響人数は、1,134名、影響額は1,200万円となる。広域連合議会では急激な負担増を避けるよう国に対して要望していくと決っていた。

問 駅バス停留所ターミナルのトイレに、戸をつけ、周辺の整備を。

答 早急に現地を確認し、検討していく。

問 標茶町に定住を希望している若者へ特化した住宅政策を。

答 基本的には若い人たちがぜひ標茶に住んでもらえる状況は意識していきたい。

後藤 勲 議員

問 青少年体育館の解体費を、なぜ役場の旧独身寮解体に変更したのか。

答 地域から独身寮が危険であると要望があり、そちらの解体を優先させた。

問 大雪時の除雪対策として、高齢者宅の車の所有者から先に除雪をすべきではないか。

答 施設の老朽化等もあり、大浴場については検討課題とし、また、町内の民間施設の活用についても検討している。



答 福祉除雪については、高齢者の安全と生活の確保のため、玄関までの手作業での除雪を中心に行っている。

問 町内公共施設の案内看板を改善し、増やしてはどうか。

答 引き続き、都市計画審議会等の意見を聞きながら検討していく。

問 敬老パスでの「ふれあい交流センター」の入浴方法の改善をしてはどうか。